



さぬき  
生まれ

香川県農水産物図鑑

さぬき  
育ち

# 香川県の農水産業 概要

香川県では、恵まれた自然条件のもと、品質の良いさまざまな農水産物が生産されています。

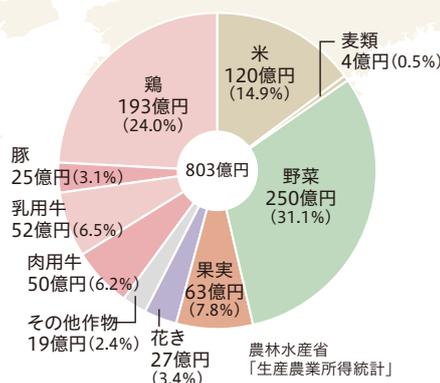
県花・県木であり、全国一の生産量を誇るオリーブは、小豆島をはじめ県内全域に栽培が広がっており、その他にも、金時にんじんや松盆栽など、全国シェア上位を占める農産物が数多くあります。

特に農業産出額(令和元年:803億円)の約4割を占める園芸作物(果実・野菜・花き)については、生産振興を図るとともに、「さぬき讚フルーツ」、「さぬき讚ベジタブル」、「さぬき讚フラワー」を束ねて「さぬき讚」シリーズとし、効果的なイメージアップ、販路拡大に取り組んでいます。

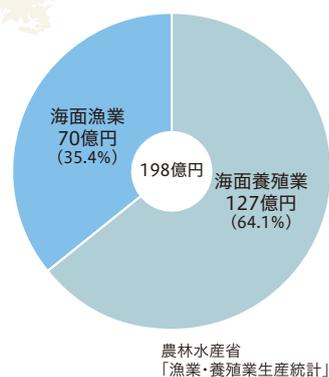
また、瀬戸内の温暖な気候風土に恵まれ昔から家畜の飼育が盛んに行われており、県特産のオリーブ採油後の果実を乾燥させたオリーブ飼料を与えた「オリーブ牛」、「オリーブ豚・オリーブ豚」、「オリーブ地鶏」を「オリーブ畜産物」として、生産拡大と消費拡大に取り組んでいます。

水産業については、海面漁業やハマチ、ノリなどの養殖業が中心で、その産出額は198億円(令和元年)になっています。東かがわ市引田の安戸池が養殖発祥の地として知られるハマチは県魚に指定されており、「ひけた鯛」、「なおしまハマチ」、「オリーブハマチ」を「香川ブランドハマチ三兄弟」として、県内外での消費拡大に取り組んでいます。

農業産出額 (令和元年)



海面漁業・養殖業産出額 (令和元年)



さぬき讚フルーツ  
Sanuki San Fruit  
香川県産

さぬき讚ベジタブル

Sanuki San Flower  
さぬき讚フラワー

## \\ 香川のイチオシ農産物 //

### 「さぬき讚」シリーズ

「さぬき讚」シリーズとは、香川県のおいしい果物「さぬき讚フルーツ」、旬や品質にこだわった県産野菜「さぬき讚ベジタブル」、高品質な県産花き「さぬき讚フラワー」を束ねたものです。

「さぬき讚」には、讃岐の「讚」、香川産や農産物の「産」、太陽の「SUN」、太陽が「さんさん」とふりそそぐ様子の「さん」、賛美の「賛」に加え、フルーツ・ベジタブル・フラワーを束ねた3品目の「3」の意味を込めています。



香川県  
農水産物  
3つの  
キーワード



オリーブの  
栽培は110年  
以上の歴史

キーワード

初

キーワード

金時にんじん p.11

令和元年度  
生産量 2,006t

全国シェア 約97%



ハマチの  
養殖1928年  
世界で初めて成功

全国  
1位



松盆栽 p.18

令和元年度  
生産量 51,000本

全国シェア 約80%



オリーブ p.16

令和2年度  
生産量 490t

平成30年度  
全国シェア 約91%



オリーブ採油後の  
果実を使った飼料で育成

オリーブ牛  
オリーブ豚  
オリーブ地鶏 p.19

オリーブ葉を混ぜた  
飼料で育成

オリーブハマチ p.21

キーワード

オリーブ

主な農水産物生産量の全国順位・シェア率

順位	品目	生産量	全国シェア	調査期間
1位	金時にんじん	2,006 t	97 %	令和元年度
	オリーブ	420 t	91 %	平成30年
	マーガレット	1,410 千本	83 %	令和元年
2位	はだか麦	3,320 t	16 %	令和元年
	ランタンキュラス	1,766 千本	15 %	令和元年
3位	ブロッコリー	15,400 t	9 %	令和元年
	にんにく	742 t	4 %	令和元年
	ヒマワリ	1,384 千本	6 %	令和元年
4位	びわ	241 t	7 %	令和元年
5位	冬レタス	15,100 t	8 %	令和元年度
6位	カタクチイワシ	8,537 t	7 %	令和元年
	ノリ類(養殖)	10,555 t	4 %	令和元年
7位	ハマチ(ブリ)養殖	5,908 t	6 %	令和元年

CONTENTS

旬のカレンダー p.03・p.04

品目紹介 p.05~p.22

穀物…p.05 花き…p.17

野菜…p.07 畜産…p.19

果物…p.13 水産…p.21

★画像提供/一般財団法人かがわ県産品振興機構



# 香川県の農水産物 旬のカレンダー

出回り時期
  最盛期
 ★ 収穫時期

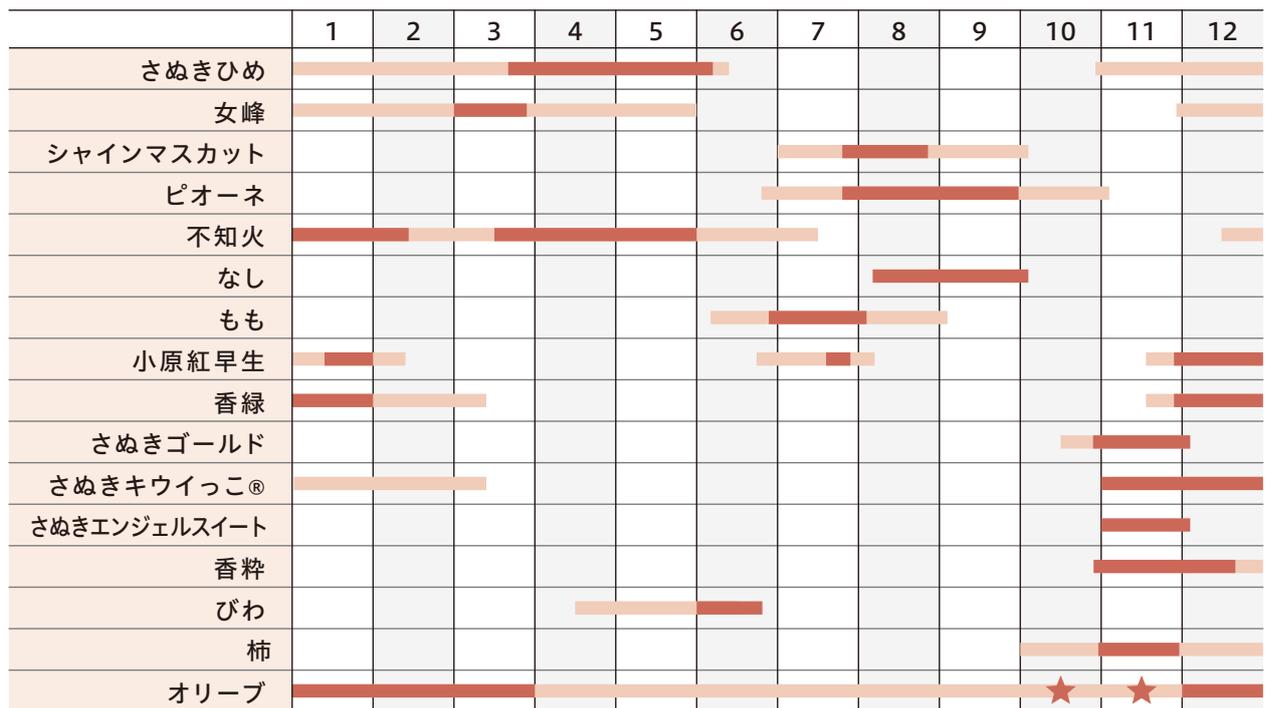
## 穀物

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
小麦・さぬきの夢						★							
米・おいでまい										★			
黒大豆												★	

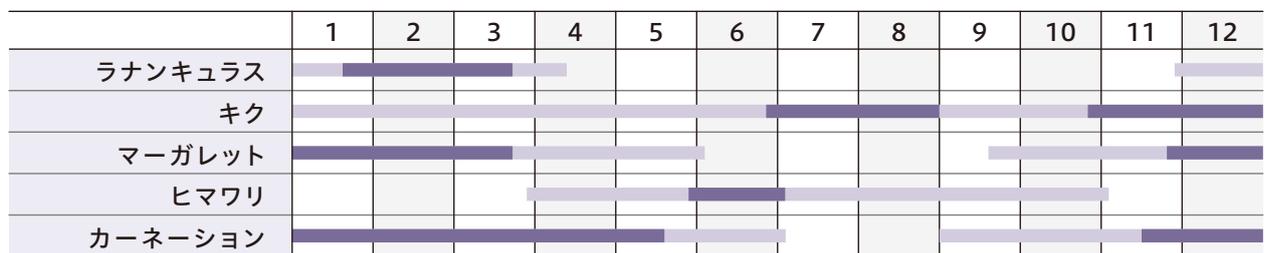
## 野菜

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
レタス													
ロメインレタス													
ミニトマト													
オクラ													
なばな													
にんにく													
アスパラガス・さぬきのめざめ													
ブロッコリー													
きゅうり													
パセリ													
セルリー													
スイートコーン													
かんしょ													
たまねぎ													
青ねぎ													
金時にんじん													
食べて菜													
モロヘイヤ													
キャベツ													
まんば													
香川本鷹													
葉ごぼう													
三豊なす													

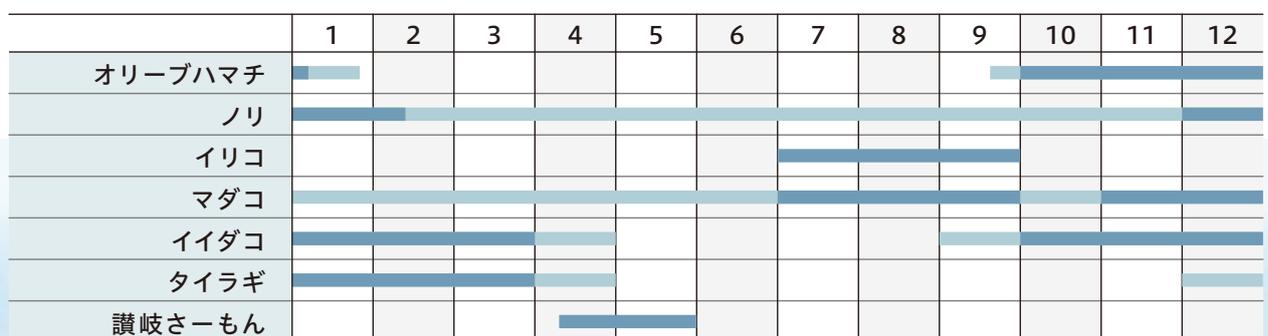
## 果物



## 花き



## 水産



# 讃岐

Grains

# 物

冬も温暖な香川県では、米栽培だけでなく、古くから水田の裏作として麦の栽培も盛んです。気候にあった新品種の米や、小麦なども開発されています。

「県産小麦のさぬきうどんを」との声から誕生した県オリジナル品種

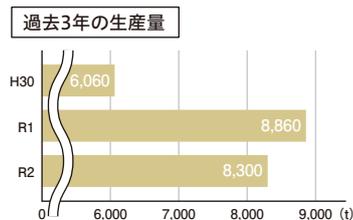
## さぬきの夢

### 【誕生】

「さぬきの夢」は、県農業試験場が讃岐うどんのために開発した小麦の県オリジナル品種です。香川県は元来、小麦の産地でしたが、昭和30年代を境に作柄の不安定さなどから外国産に押され栽培が急速に減少しました。そのような中、「地元で小麦で作った讃岐うどんを食べたい」という声を受けて、平成3年から品種開発に着手し、9年の歳月をかけて誕生したのが「さぬきの夢2000」です。

### 【進化】

「さぬきの夢2000」開発後もより優れた新品種の開発に取り組んできました。絞り込まれた2つの後継品種について、現地ほ場での適応性を検討するほか、製粉工場やうどん店での製粉・製麺適性の評価、県民への試食アンケートを実施し、評価が高かった品種が「さぬきの夢2009」として誕生し、平成25年産より県内全域で栽培されています。



### さぬきの夢2009の特長

#### ■色

つややかで冴えた色が、うどんの外観を引き立て、食欲をそそります。

#### ■食感

モチモチとした食感で、のどごしがなめらかです。

#### ■味と香り

素朴な味わいの中に旨みがあり、風味も豊かです。小麦の香りがほんのり漂います。

### 「さぬきの夢」うどんを食べるには

#### ～さぬきの夢こだわり店～

年間を通じて「さぬきの夢」を100%使用したうどんを提供する県内のうどん店のうち、「めん」「だし」「サービス」において審査基準を満たしたうどん店です。

#### ～さぬきの夢応援店～

県内のうどん店のうち、原料として「さぬきの夢」(ブレンドを含む)の小麦粉を使用したうどんを年間提供するうどん店です。

香川県HP「さぬきの夢物語」

[https://www.pref.kagawa.lg.jp/seiryu/sanukinoyume/menpaku/06\\_shop.html](https://www.pref.kagawa.lg.jp/seiryu/sanukinoyume/menpaku/06_shop.html)



「いらっしやい」を意味する讃岐弁  
暑さに負けないおいしいお米

# おいでまい



「おいでまい」は、食味と品質の良い「あわみのり」と高温に強く食味が良い「ほほえみ」を交配して誕生しました。  
米の色が明るく、艶があり、しっかりとした食感と繊細な甘みが特長で、冷めても粒々感や味が引き立つお米です。平成25年産から本格栽培が始まり、一般社団法人日本穀物検定協会が実施する「米の食味ランキング」で最高ランクの「特A」評価をこれまで5回獲得するなど高い評価を得ています。

生産実績(R2年産)

栽培面積:1,450ha 生産量:6,960t



## 生産者インタビュー①

【おいでまい】 農事組合法人 六郷 代表 松浦 正武さん



「おいでまい」の採種ほ場にて。「せっかく開発してくれた良い品種。責任を持っておいしいお米を作っていきます。」



松浦さんが代表を務める丸亀市の農事組合法人「六郷」では、10.8haのほ場で「おいでまい」を栽培しています。試験栽培の頃から関わっており「いいお米、うまいお米を作ろう」と、がんばってきました。収量の確保や品質の向上のための改善・改良に余念がありません。「仲間と相談しながらいろいろなことを試すのがおもしろいです。」と楽しそうに笑います。「六郷」では種子の栽培も行っているため品質に関しては責任重大です。しっかりとした管理のもと、栽培を行っているそうです。

「おいでまい」は水晶のように透き通った粒が特長で、通常より大きめのふるいにかけて出荷するため、粒の大きさにも定評があります。香川県では「おいでまい」を栽培するために登録制度を設けていますが、これは生産者にプライドを持ってもらうことも目的のひとつだと松浦さんは語ります。

クセがなくあっさりとした食味の「おいでまい」は、冷めても味が引き立つためお弁当やおにぎりにもぴったり。県内の学校給食にも使われており、認知度は上がってきているそうです。松浦さんは地域の小学生を対象に田植えや収穫体験などを行っているそうで、「米作りに触れたりおいしいお米を食べてもらう機会を増やしていきたいですね。」と語ってくれました。



試験運用中の「水位センサー」。スマート農業の取組みにも積極的です。

「丹波黒」を品種改良  
見た目も美しく煮豆に最適

# 黒大豆(香川黒1号)



香川大学や香川県農業協同組合、香川県が共同で開発した黒大豆「香川黒1号」は、従来品種に比べて粒ぞろいや色、香りが優れています。  
中でも粒の大きなものは「讃州大黒」の商標で販売されています。

生産実績(R元年産)

栽培面積:23ha 生産量:11.7t



# 野菜

## Vegetables



「らりるれレタス」の愛称で全国に流通

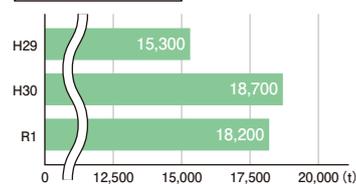
## レタス

香川県西部を中心に、昭和35年から60年以上にわたり栽培されています。平成3年からは「らりるれレタス」のブランド名で土づくりや安全管理に取り組んでいます。葉が厚く、シャキシャキとした食感で甘味があり、色艶の良さも特長です。

主要産地：観音寺市、三豊市、善通寺市



過去3年の生産量



玉レタスとは異なる  
肉厚の葉とサクッとした食感が魅力

## ロメインレタス

別名「コスレタス」とも呼ばれ、観音寺市豊南地区の若手農家を中心に栽培されています。加熱してもおいしいため、幅広いメニューで利用できます。

主要産地：観音寺市

生産実績(H30年産)

栽培面積：35ha

生産量：1,180t



年間を通し温暖で降水量の少ない瀬戸内海気候を生かして、県オリジナル品種から伝統野菜まで、さまざまな作物を栽培。県内外に流通し、全国有数の生産量を誇る作物もあります。



香川の太陽をたっぷり浴びた 色鮮やかな良質トマト

## ミニトマト

香川県内では、昭和60年頃から栽培が始まりました。日照時間の長い香川県で作られるミニトマトは、実が締まって色づきがよく、甘くてジューシーです。

主要産地：多度津町、さぬき市、善通寺市

生産実績(R元年産)

栽培面積：39ha

生産量：1,860t

栄養豊富な夏野菜

## オクラ

露地栽培された香川県のオクラは太陽光をたくさん浴び、とても肉厚で、ビタミンやミネラルを多く含んでいます。色が濃く鮮やかで、産毛がびっしり生えているものがおすすめです。

主要産地：善通寺市、坂出市、さぬき市

生産実績(R元年産)

栽培面積：14ha

生産量：255t



春の訪れを感じさせる野菜 苦味を抑えた県オリジナル品種も

## なばな

昭和60年頃から春を先取りする野菜として栽培が始まりました。独特のほろ苦さがあり、おひたしやごま和え、お寿司の具などに向いています。平成13年に県オリジナル品種として登録された「瀬戸の春」は、苦みが少なく食べやすい品種です。

主要産地: 琴平町、高松市、丸亀市

生産実績(R元年産)

栽培面積: 90ha  
生産量: 588t



食べればわかる味の違い 丁寧な栽培が秘訣

## にんにく

栽培面積、生産量ともに全国第3位(令和元年)を誇っています。手間ひまかけて育てた香川県のにんにくは、身がびっしり詰まり、食べると豊かな香りが口の中に広がります。

主要産地: 琴平町、善通寺市、さぬき市

生産実績(R元年産)

栽培面積: 102ha  
生産量: 742t

県オリジナル品種

味もサイズもピカイチのアスパラガス

## さぬきのめざめ

県農業試験場が開発し、平成17年に県オリジナル品種として登録されました。穂先がキュッと締まり、根元までやわらかく、ほのかな甘味が魅力です。春の萌芽が早く、約50cmのロングサイズの出荷もあります。また、「さぬきのめざめバイオレッタ」は、鮮やかな紫色が特長です。ホワイトアスパラガスといっしょに料理の彩りとしても活躍します。

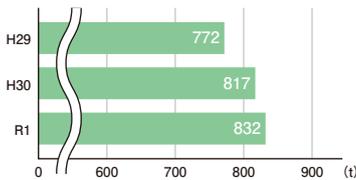
主要産地: 丸亀市、まんのう町、三豊市



◀ さぬきのめざめ  
バイオレッタ



過去3年の生産量



生産者インタビュー②

【さぬきのめざめ】 藤本雅之さん・輝華さん夫妻

東かがわ市で家族で農業を営んでいる藤本さん夫妻。天候に左右されにくい品目をと、3年前から「さぬきのめざめ」の栽培を始めました。収量の確保や身体負担の軽減のため、県農業試験場が開発した高うね栽培の方法である「かがわ型アスパラガス栽培」を取り入れています。

「さぬきのめざめ」を育てる上で肝心なのは水管理と考えており、「こまめにハウスに入り、目視や土の感触で乾き具合を確かめています。」と話す輝華さん。鮮度を保持するため、早朝



60cmの高さの畝での収穫作業。

に収穫し、収穫後は素早く出荷調整作業を行っています。

「食べた人が『こんなにおいしいアスパラガスははじめて』と驚いてくれるのがうれしいです。」と語る雅之さん。「特に冬の間に蓄えた栄養で育った春芽は格別のおいしさ。根元の方まで柔らかく食べられます。一本まるごと使える天ぷらやフライもおすすめですが、豚肉との相性がいいので、私は肉巻きが好きですね。」と教えてくれました。



現在13アールのハウスで「さぬきのめざめ」を栽培中。今後増やしていく予定です。



全国屈指の生産量  
氷詰め出荷で鮮度抜群

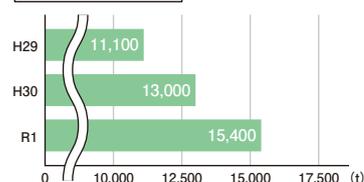
## ブロッコリー

ビタミンCやβ-カロテン、鉄分などが豊富な栄養価の高い野菜です。生産量は年々増加し、シェアは全国第3位(令和元年)になっています。

鮮度が命の野菜のため、日の出前から収穫し、氷詰めにしてすぐに出荷されています。

主要産地:高松市、三豊市、まんのう町

過去3年の生産量



皮が薄くて歯切れがよい 「白いぼ種」が最近の主流

## きゅうり

昭和30年代から本格的な栽培が始まり、現在、生産の約7割を占める夏秋きゅうりは、昼夜の寒暖差が大きい山間部を中心に品質の高いものが生産されています。生食や漬物以外にも、炒め物や酢の物などさまざまな料理に使われています。

主要産地:三木町、高松市、綾川町

生産実績(R元年産)

栽培面積:101ha  
生産量:3,700t



東かがわ市のブランドパセリ  
品質の高さもトップクラス

## パセリ

香川県は西日本を代表する産地で、特に、東かがわ市の旧大内町で生産されるものは、「大内パセリ」のブランド名で高い評価を受けています。

主要産地:東かがわ市

生産実績(H30年産)

栽培面積:6ha  
生産量:156t

香りと食感が魅力の健康野菜

## セルリー

観音寺市で40年以上栽培されています。主に、茎が黄白色で穏やかな香りの中間種や、香り高い緑色種のミニセルリーが栽培されています。

主要産地:観音寺市

生産実績(R元年産)

栽培面積:11ha  
生産量:955t





甘くておいしい県産スイートコーンは人気上昇中

## スイートコーン

実の色が黄一色のイエロー系、白一色のシルバー系、黄と白が混じったバイカラー系があります。香川県では、イエロー系の柔らかい食感で甘みの強い品種が主に栽培されています。

主要産地: 坂出市、普通寺市、観音寺市

生産実績 (R元年産)

栽培面積: 132ha  
生産量: 1,680t

塩田跡の砂地で育つ ホクホクのさつまいも

## かんしょ

強い甘味ときめ細やかな肉質が特長の香川県のかんしょは、「早掘りかんしょ」として6月下旬から出荷されます。瀬戸内の温暖少雨の気候と塩田跡の砂地は、かんしょ栽培に最適です。

主要産地: 坂出市

生産実績 (R元年産)

栽培面積: 61ha  
生産量: 851t



品質の高さに定評あり

## たまねぎ

香川県のたまねぎは、昭和30年代に栽培が始まりました。肉厚、ジューシー、甘味と三拍子そろったおいしさは、全国でも高い評価を受けており、6、7月には関東市場で高いシェアを占めています。

また、採種たまねぎの栽培も盛んです。

主要産地: 丸亀市、三豊市、観音寺市

生産実績 (R元年産)

栽培面積: 224ha  
生産量: 9,900t

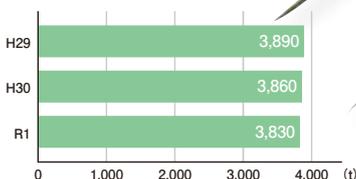
みずみずしくて香り豊か 早朝収穫で鮮度抜群

## 青ねぎ

さぬきうどんだけでなく、味噌汁や和え物の薬味として、食卓に欠かせない野菜の一つです。周年出荷体制を確立しており、県産野菜の主要品目になっています。鮮度保持のため、早朝からの収穫や丁寧な根洗いを行っています。

主要産地: 観音寺市、さぬき市、東かがわ市

過去3年の生産量



※白ねぎ、青ねぎの合計





生産量全国トップ  
香川の冬に欠かせない郷土野菜

## 金時にんじん

西洋にんじんと比べて甘く柔らかい、鮮やかな赤色が特長で、おせち料理や京料理に重宝されています。坂出市と観音寺市の砂地で栽培されており、生産量は全国第1位(令和元年)です。

主要産地:坂出市、観音寺市

生産実績(R元年産)

生産量:2,006t

※大阪市中央卸売市場における入荷量

「みんなに食べてほしい」との想いが由来

## 食べて菜

2009年にデビューした県オリジナル品種です。「みんなに食べてほしい」という願いを込めて、県内の小中学生を対象に、公募して名前が決定しました。シャキシャキ感があり、小松菜と比べて苦みが少ないため、幅広い料理に使うことができます。

主要産地:高松市



生産実績(R2年度)

生産量:14t

※香川県学校給食取扱実績



ねばりが特長の健康野菜 国内初の新品種も誕生

## モロヘイヤ・さぬきのヘイヤ

香川県では昭和の終わり頃から栽培されています。県農業試験場で育成し国内初の品種登録を目指す「さぬきのヘイヤ」は、茎が鮮やかな緑色で、えぐみが少なく、茎や葉が柔らかいのが特長です。

主要産地:観音寺市、丸亀市、東かがわ市



生産実績(R元年産)

栽培面積:2ha

生産量:26t

一年中欠かせない定番野菜 県内全域で栽培

## キャベツ

香川県のキャベツは11月頃~春にかけて登場します。冬キャベツは結球が締まって甘みが増していて、煮込み料理もおすすです。春キャベツは葉が柔らかくみずみずしいので、サラダや和え物など火を通さない生食がおすすです。

主要産地:観音寺市、三豊市、丸亀市

生産実績(R元年産)

栽培面積:241ha

生産量:10,000t





## 香川の冬を代表する野菜

### まんば

高菜の一種で、香川県の東部では「まんば」、西部では「ひゃっか」と呼ばれ、紫色を帯びた大きな外葉を一枚一枚収穫します。油揚げや豆腐と煮た「まんばのけんちゃん」は、香川県の郷土料理です。寒くなるほど、柔らかくなり甘みが増します。

主要産地：高松市

生産実績(H29年産)

生産量：71t

※県内5卸売業者取扱合計量

## 官民の協力で復活した「幻の唐辛子」

### 香川本鷹

安土桃山時代に朝鮮から持ち帰り伝えたという言い伝えが残っています。昭和55年頃栽培が途絶えましたが、関係機関と香川県が連携した結果、平成18年に栽培が復活しました。一般的な品種より大きく、赤色が濃いのが特長です。

主要産地：三豊市、丸亀市、高松市

生産実績(R元年産)

栽培面積：1ha

生産量：2t



## 短い根・長い茎・大きな葉 それぞれ異なる食感と風味

### 葉ごぼう

香川県の伝統野菜で、「春を呼ぶ野菜」とも言われます。独特のさわやかな香りと、特有の歯ざわりが特長で、根、茎、葉の全体を食べることができます。根や茎は煮物や天ぷらに、葉は細かく刻んで炒め物や佃煮などがおすすめです。

主要産地：高松市、さぬき市

生産実績(H29年産)

生産量：34t

※県内5卸売業者取扱合計量

## 手間ひまかけて育てられる

### おどろきのサイズ感

### 三豊なす

昭和初期、朝鮮半島に出向いた三豊の農家が種を持ち帰ったのが栽培の始まりと言われていいます。普通のなすの約3倍の大きさがあり、皮が柔らかく、身もジューシーです。収穫までに時間がかかり、収量が少ないため、希少価値の高い野菜です。

主要産地：三豊市、観音寺市、高松市

生産実績(H29年産)

生産量：15t

※県内5卸売業者取扱合計量





Fruit

いちご栽培が盛んな香川に誕生した

県オリジナル品種

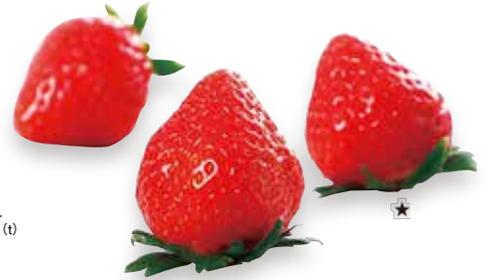
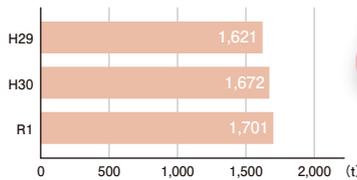
## さぬきひめ



県農業試験場が開発し、平成21年に品種登録されました。まるまるとした形が可愛らしく、光沢のある果実はやわらかい食感で、とてもジューシーです。香り豊かで上品な甘さが特長です。

主要産地：観音寺市、綾川町、三木町

過去3年の生産量



美しいプロポーションと  
バランスのよい食味

## 女峰

香川県で生産される女峰は、美しい円錐形と甘味・酸味のバランスが良く、全国的に高い評価を得ています。その美味しさから、生食だけでなくケーキなどのスイーツにも多く利用されています。

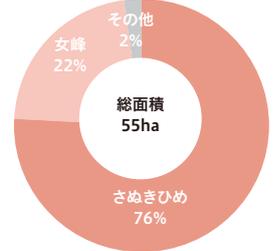
主要産地：三豊市、三木町、土庄町、小豆島町



生産実績 (R元年産)

栽培面積：12ha 生産量：483t

香川県のいちご品種別面積割合 (令和元年度)



日照時間の長い温暖な気候のもと、高い技術と丁寧な作業で、良質な果物栽培が行われています。技術開発も積極的に行われ、県オリジナル品種も多く誕生しています。



甘さ抜群

皮ごと食べられる新世代のマスカット

## シャインマスカット

平成18年に品種登録されたシャインマスカットは、糖度が高く皮ごと食べられる種のない大粒のブドウです。香川県は全国に先駆けて導入し、ブランド化を進めており、一粒の直径を500円玉程度の大きさに仕上げ、700g前後に房作りをしています。

主要産地：高松市、三豊市、多度津町

生産実績 (R元年産)

栽培面積：20ha  
生産量：188t

香川県産ぶどうのメイン品種

種のない「ニューピオーネ」も人気

## ピオーネ

香川県で最も多く栽培されているぶどうの品種です。日照時間が長く温暖な気候と、生産者の細やかな技術により、大粒で酸味と甘みのバランスが良い良質なものが生産されています。

主要産地：三豊市、綾川町、多度津町

生産実績 (R元年産)

栽培面積：106ha  
生産量：195t





美味しさと食べやすさから人気の品種

独自の技術開発で付加価値追加

## しらぬひ 不知火

甘味が強く、程よく酸味があって、みかんのように袋ごと食べられることから人気の高い果物です。香川県では、施設栽培による省加温栽培と県独自の点滴かん水技術で酸抜きを促進させる技術を確認しています。

また、フィルム包装、低温貯蔵により長期貯蔵出荷が可能になりました。

主要産地:高松市、観音寺市、善通寺市

生産実績(R元年産)

栽培面積:3ha

生産量:275t

甘くてみずみずしい 歴史あるホウナンの梨

## こうすい ほうすい なし (幸水・豊水・あきづき)

100年以上の栽培の歴史があり、主産地の観音寺市豊浜町では「ホウナンの梨」として販売されています。

瀬戸内の温暖少雨で恵まれた環境で栽培したホウナンの梨は、完熟で収穫するため、甘くてシャキシャキした食感に味わい深さがあります。

主要産地:観音寺市

生産実績(R元年産)

栽培面積:31ha

生産量:261t



古くから栽培されている 香川の夏果実の代表格

## もも

香川県は日照時間が長く降雨が少ないため古くから良質なものの産地です。

「日川白鳳」「あかつき」「なつおとめ」など多くの品種が栽培されています。特殊な光線により一果ずつ糖度を計測する選果機で品質の揃ったももを出荷しています。

主要産地:丸亀市、さぬき市、三豊市

生産実績(R元年産)

栽培面積:137ha

生産量:472t

香川生まれで濃厚な甘さの

紅いみかん

## おぼらべにわせ 小原紅早生

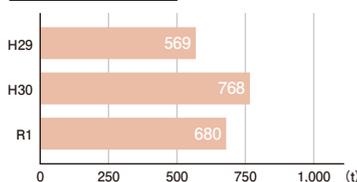
昭和48年、坂出市のみかん園で枝変わりという突然変異で誕生しました。果皮の色が紅く、濃厚な甘味が特長です。

平成29年12月には「香川小原紅早生みかん」として、地理的表示(GI)保護制度に登録されました。

主要産地:高松市、坂出市、観音寺市、三豊市



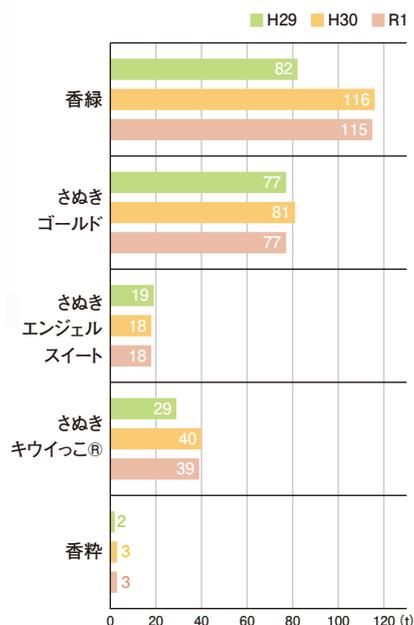
過去3年の生産量



キウイフルーツのサイズ比較



キウイ各種 過去3年の生産量



俵型の美しいフォルムに  
エメラルドグリーン of 果肉

## 香緑



県オリジナル品種で、昭和62年に品種登録されました。  
一般的な品種「ヘイワード」より糖度が高く、濃い緑色をしています。香川県では、国内で唯一、キウイフルーツの袋掛け栽培を行っており、美しい外観に仕上がっています。

主要産地：高松市、善通寺市、三豊市

りんごのような大きな実と  
黄金色の果肉が特長

## さぬきゴールド



黄金色の果肉と世界最大級の大きさを誇る、平成17年に品種登録された県オリジナル品種です。酸味が少なく、非常に甘くて食べやすいのが特長です。ビタミンCが一般品種の約3倍も含まれており、平成27年から「栄養機能食品」としての販売も行っています。

主要産地：  
高松市、善通寺市、三豊市



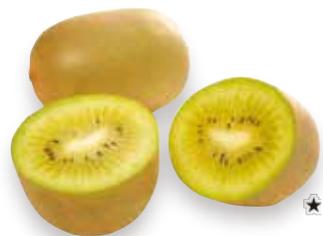
サイズは通常品種の半分程度  
和三盆のような甘さが自慢

## さぬきキウイっこ®



香川大学と香川県が共同開発し、平成26年に品種登録された県オリジナル品種です。シマサルナシとキウイフルーツを交配して誕生し、一口サイズで高い糖度を誇ります。手で半分に割って果肉を押し出すと、簡単に食べることができます。

主要産地：  
高松市、善通寺市、小豆島町



種子の周りだけ「天使の輪」のように赤く色づく  
期間限定の希少品種

## さぬきエンジェル スイート



県オリジナル品種で、平成25年に品種登録されました。果皮に毛がないので食べやすく、口に入ると、後を引く上品な甘さを感じます。11月上旬から約2週間だけ出回る希少な品種です。

主要産地：  
高松市、善通寺市、三豊市



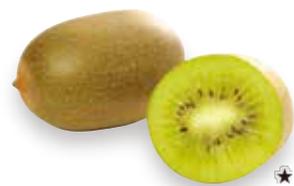
ぶどうのような感覚で食べられる  
一口サイズの小さなキウイ

## 香粹



一般的なキウイフルーツの3分の1~半分程度の大きさをした県オリジナル品種で、平成11年に品種登録されました。手で半分に割って簡単に食べることができ、学校給食でも人気です。

主要産地：善通寺市、三豊市



全国上位の生産量を誇る  
初夏を彩る逸品

## びわ

丁寧な袋掛け作業と、香川県独自の品質評価技術により、高品質なびわを生産しています。平成29年には、大玉で果肉が柔らかく糖度の高い品種の「なつたより」がさぬき讚フルーツのラインナップに追加されました。

主要産地：高松市、坂出市、善通寺市

生産実績(R元年産)

栽培面積：71ha  
生産量：241t



食べ応えのある食感

秋の訪れを感じさせる果物として人気

## 柿

香川県で栽培されている主な品種は「富有」と「太秋」です。「富有」は、熟した時の美しい色合いと果実の大きさ、高い糖度などが魅力です。「太秋」は、果肉がさくさくした食感で、果汁が多く、糖度も約17～18度になります。

主要産地：高松市、綾川町

生産実績(R元年産)

栽培面積：181ha  
生産量：1,060t



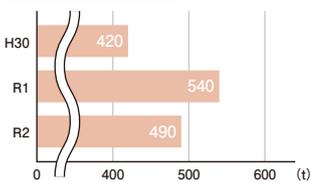
栽培面積 生産量ともに全国トップ  
香川だけの高品質オリーブ

## オリーブ

明治41年、小豆島において、日本でのオリーブの栽培が始まりました。最近では、小豆島以外の地域でも生産が拡大しています。香川県のオリーブは傷をつけないよう一粒ずつ手摘みで収穫し、丁寧に選別しています。また、香川県では、国内で初となる新品種「香オリ3号」、「香オリ5号」を開発し、生産拡大を図っています。

主要産地：小豆島町、土庄町、高松市

過去3年の生産量



## オリーブオイル

丁寧な収穫作業と、収穫してから採油するまでの時間が短いことで、香川県産のオリーブオイルは、そのほとんどが高品質のエキストラバージンオリーブオイルとなり、権威ある国際品評会で多数の製品が入賞しています。また、香川県では高品質なオリーブオイルを安心して購入いただけるよう独自の品質表示制度「かがわオリーブオイル品質表示制度」を設けています。



# 花き



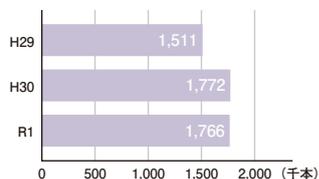
手まりのような可愛い形  
カラーバリエーションも豊富



## ラナンキュラス

香川県は高品質なラナンキュラスの産地として知られています。県オリジナル品種「てまり」シリーズは、カラーバリエーションが豊富で、日持ちがよく、贈答用だけでなく家庭用としても人気です。

過去3年の生産量



主要産地: 三豊市、さぬき市



紅てまり



雪てまり



小春てまり



れもんてまり



ゆずてまり



藤てまり



恋てまり

県オリジナル品種の

カーネーションやラナンキュラスをはじめ

高品質な花きを数多く生産しています。

盆栽の産地としても有名です。



気品のある大輪に素朴な小菊  
可憐なスプレーギクなど多種多様

## キク

古くから香川県で栽培されていたキクは、現在も丸亀市や小豆島町をはじめ県内各地で年間を通して栽培されており、生け花のほか、洋風のアレンジメントなどでも使われています。

生産実績 (R元年産)

栽培面積: 43ha  
生産量: 13,442千本

主要産地: 丸亀市、小豆島町

可憐で清楚 贈り物やウエディングに  
マーガレット

香川県を代表する花きの一つで、三豊市の荘内半島で栽培されています。

花が咲き終わっても花びらが落ちないため、「落ちない花」として受験生の応援にぴったりです。

主要産地: 三豊市

生産実績 (R元年産)

栽培面積: 3.1ha  
生産量: 1,410千本



春から秋まで長期間栽培  
切り花用の小ぶりの品種が主流

## ヒマワリ

香川県では切り花用として定番の黄色だけでなく、茶色や八重など20以上の品種を栽培しています。小ぶりで花粉が出にくい品種が多く流通しており、アレンジメントの花材としても人気です。

生産実績 (R元年産)

栽培面積: 7.5ha  
生産量: 1,384千本

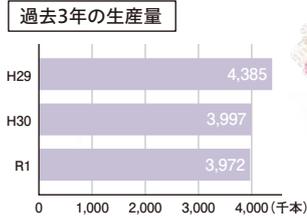
主要産地: 三豊市、高松市

小さなティアラのような花  
アレンジメントに最適

# カーネーション



優れた品種と日持ちの良さで全国的にも高い評価を得ており、その栽培の歴史は昭和初期から始まります。県オリジナル品種「ミニティアラ」シリーズは、従来のカーネーションと花の形が異なり、ティアラを思わせる小さな可愛らしい花が、フラワーアレンジメントなどに人気です。



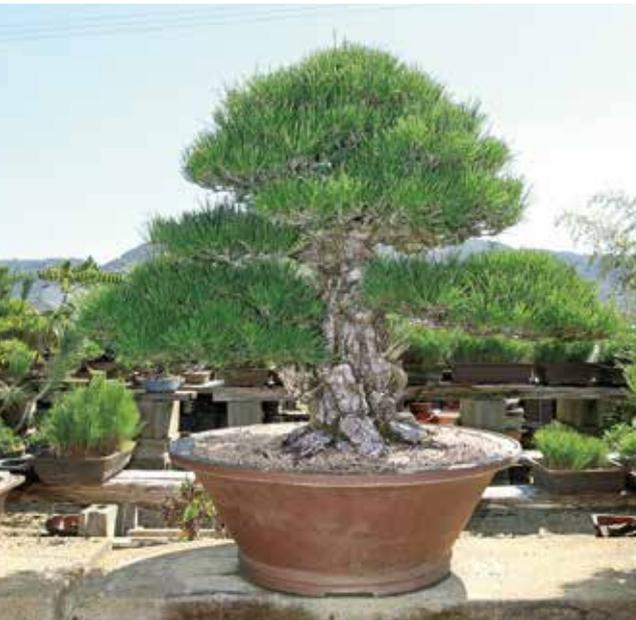
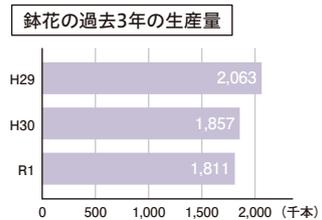
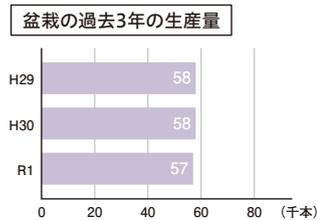
主要産地:高松市、綾川町、丸亀市



## 世界に誇る松盆栽 盆栽畑の風景は産地ならではの 盆栽・鉢花

高松市の鬼無・国分寺地区は約200年続く盆栽の産地で、松盆栽では全国トップの生産量を誇ります。苗木から完成まで一貫した生産を行っており、初心者向けから愛好家向けの銘品まで様々な盆栽が作られています。また、香川県ではポインセチアやサイネリアなど様々な種類の鉢花が生産されており、特に最近では、気軽に楽しめる小さな鉢の商品が人気です。

盆栽主要産地:高松市    鉢花主要産地:三豊市、観音寺市



### 生産者インタビュー③

#### 【盆栽】北谷養盛園 北谷 隆一さん

北谷隆一さんは、100年の歴史を持つ老舗盆栽園の4代目。高松市鬼無地区で、畑に4,000本、鉢植え3,000本ほどの松を、父親と2人で育成販売しています。植えから育てたものや鉢で仕入れたものに加え、祖父が瀬戸内の島々から採取した黒松もあり、樹齢100年を超えるものも多いとか。それらを「天候や木の状態を見ながら1本1本管理する必要があります。」と話す北谷さん。盆栽に関するノウハウは父親だけでなく周囲の先輩方にも教わったと言います。「販売だけでなく生産農家が集まっているのがこの地区の強みですね。」



緑色が鮮やかな松畑。買い手がつかまで定期的な剪定が加えられます。

北谷さんいわく盆栽の魅力は、「一つの木が持つ歴史」。良い木は人から人へと受け継がれながら、大事に手入れされることでその魅力を増し、長い間愛されます。盆栽は今や世界的な人気。北谷さんの元にも海外の愛好家からのコンタクトが多くあるそうです。

盆栽文化の普及・発展のため、4年程前から動画配信している北谷さん。「配信を始めてから栽培方法や手入れの仕方について、より強く意識するようになりました。間違っていることは言えませんがね。」と、技術の向上に力を入れていることがうかがえました。



目標は「松のことなら北谷に聞けばいいと言われるような存在」と語ってくれました。

# 畜産

Livestock



瀬戸内海の恵まれた気候風土のなかで  
丹念に育てられた  
「オリーブ牛」、「オリーブ夢豚・オリーブ豚」、「オリーブ地鶏」。  
香川県を代表する美味しいブランド「オリーブ畜産物」です。

瀬戸内の温かな風土と  
オリーブに育まれた讃岐牛

## オリーブ牛



※香川県内で飼育された黒毛和種で、肉質の15ランクの内、上位4ランクに格付けされたものを「讃岐牛(金ラベル)」、5・6ランクのものを「讃岐牛(銀ラベル)」としています。無理なく、常に最高の状態で生産できるよう注意し、約30カ月間、手塩にかけて育てています。

オリーブ牛とは、讃岐牛(さぬきうし)のうち、オリーブ飼料を1日100g以上、出荷前2カ月以上給与して育てられた香川県産黒毛和牛です。100年を超えた歴史を誇る、香川県小豆島のオリーブと、瀬戸内の温暖な気候風土の中で古くから育まれてきた讃岐牛。2つの歴史とブランドが融合して誕生しました。オリーブ牛の特長は、柔らかい肉質と後味の良い脂質。そのおいしさの秘密は、オリーブに含まれるオレイン酸や抗酸化成分にあります。第11回全国和牛能力共進会で「脂肪の質賞」を受賞し、優れた品質と味の良さの評価が一段と高まりました。

歩留等級	肉質等級				
	5	4	3	2	1
A	A5	A4	A3	A2	A1
B	B5	B4	B3	B2	B1
C	C5	C4	C3	C2	C1

(社)日本食肉格付協会制定の牛枝肉取引規格

### オリーブ畜産物

香川県産オリーブの採油後の果実を乾燥した「オリーブ飼料」を一定期間、一定量を給与して、香川県内の農場で大切に育てた和牛、豚、地鶏を「オリーブ牛」、「オリーブ夢豚・オリーブ豚」、「オリーブ地鶏」と呼び、これらを総称して「オリーブ畜産物」と言います。

讃岐三畜銘柄化  
推進協議会HP

<https://www.sanchiku.gr.jp/>





旨味・甘味成分ともにアップ

オリーブの力で健康に育った肉質

# オリーブ<sup>ゆめぶた</sup>夢豚・オリーブ<sup>どん</sup>豚

オリーブ夢豚・オリーブ豚は、ともに出荷前30日以上、オリーブ飼料を0.5%以上、麦類を8%以上配合した飼料を給与して生産しており、オリーブ夢豚は肉質が良いといわれている英国のバークシャー種をもとに開発した讃岐夢豚から、オリーブ豚は香川県産の豚から生まれたブランドです。

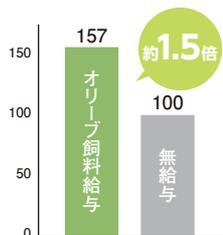
オリーブ飼料の給与によって、フルクトース(旨味や甘味の成分)が高まることが試験で確認されました。



フルクトース測定値

※オリーブ飼料無給与平均を100とした場合

※肉質検査(ロース肉):  
香川県産業技術センター



新たに誕生したオリーブ畜産物

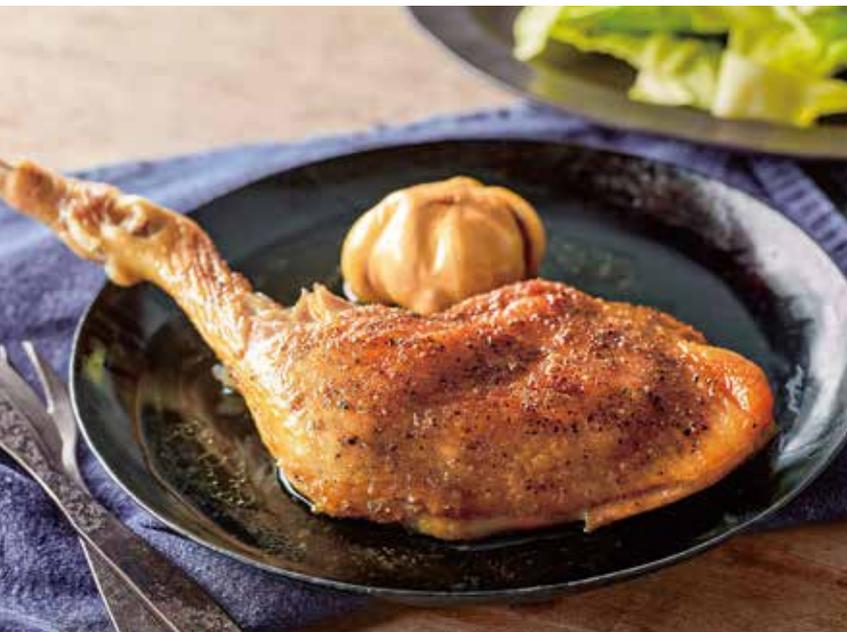
オリーブが引き出す地鶏のおいしさ

# オリーブ地鶏

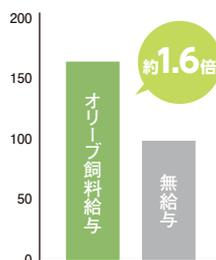


香川県の2つの地鶏「讃岐コーチン」と「瀬戸赤どり」に、出荷前2週間以上、オリーブ飼料を0.5%以上配合した飼料を給与したものがオリーブ地鶏です。

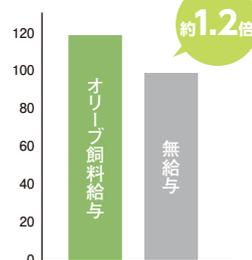
オリーブ地鶏にはグリシンとコハク酸が豊富に含まれています。グリシンはアミノ酸のひとつで、ほのかな甘みとうまみがあり、コハク酸には貝類と同様のうまみがあり、2つの成分の相乗効果により、豊かな味わいを感じられます。



グリシン測定値



コハク酸測定値



※オリーブ飼料無給与平均を100とした場合

※肉質検査:香川県畜産試験場

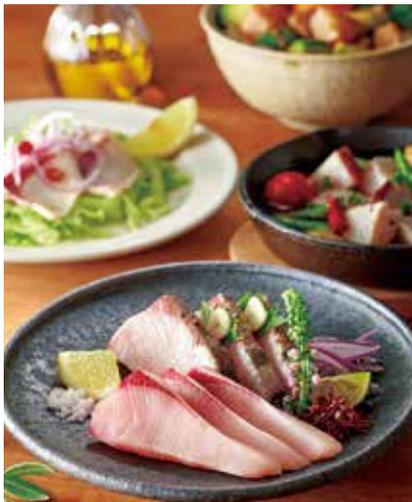


Fisheries



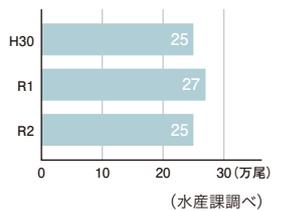
県魚・ハマチと県花県木・オリーブとの  
コラボレーション

## オリーブハマチ



オリーブハマチはオリーブ葉の粉末を添加した飼料を、一定期間与えて飼育した養殖ハマチです。ハマチ養殖発祥地として、県魚ハマチの付加価値を高めてブランド化しようとの想いから誕生しました。さっぱりとした脂とクセのない後味が特長です。9月中下旬から1月初旬にかけて、県内外へ広く出荷されます。

過去3年の養殖生産実績



主要産地: 東かがわ市、さぬき市、高松市、直島町

### オリーブ葉の粉末を添加した飼料

オリーブの葉には、抗酸化作用の強いポリフェノールの一種「オレウロペイン」が豊富に含まれており、オリーブ葉を与えることにより酸化・変色しにくい肉質とさっぱりとした味わい、適度な歯ごたえが実現しました。



瀬戸内海のミネラルがたっぷり  
初摘みノリは更に香り際立つ

## ノリ

ハマチ養殖と並んで盛んなノリ養殖は、県内漁業を支える主要産業です。生産量は全国トップクラスで、うまみが強いのが特長です。中でも11月から12月頃、シーズン最初に摘み取られたノリは、黒々とした光沢があり、やわらかい歯触りや香り高い風味が際立っており、「初摘み」香川県産ノリとしてブランド化しています。

主要産地: 東かがわ市、さぬき市、高松市 他

生産実績 (R2年)

生産量: 1.5億枚 ※乾のり生産枚数(水産課調べ)



香りも旨味も抜群 さぬきうどんのもうひとつの主役

## イリコ

「イリコ」はカタクチイワシなどをゆでて乾燥させたもので、さぬきうどんの出汁に欠かせない存在としても知られています。イリコの品質は鮮度で左右されますが、香川県では漁場と加工場が近く、漁獲から加工までを網元が一貫して行うことで、鮮度保持に万全を尽くしています。特に伊吹島で生産されるものは「伊吹いりこ」としてブランド化されています。

生産実績 (R2年)

生産量: 1,200t  
※三豊地区煮干生産量  
(水産課調べ)

主要産地: 観音寺市、三豊市



瀬戸内海に面した香川県では、年間を通して多くの水産物に恵まれ、さまざまな漁船漁業や養殖業が盛んです。温暖な気候や豊かな自然の中、品質の良さを活かしたブランド化に取り組み、全国的にも高い評価を受けています。

香川県民はタコも好き 郷土に根付いた海の恵み

## マダコ



香川県は、タコの産地として知られていますが、消費量もトップクラスで、「いもタコ」や「タコ飯」などさまざまな郷土料理で用いられます。大きいもので約3kgにもなるマダコは、複雑な海流の中で、カニや貝など豊富な餌を食べて育ちます。身がほのかに甘く、プリプリコリコリとした歯ごたえが楽しめます。

主要産地：県内全域



漁獲実績(R2年)

漁獲量：748t ※推計値(県全域)

希少さも美味しさもピカイチの“貝柱の王様”

## タイラギ



タイラギは三角形の大型の二枚貝で、その形状から「平貝(たいらがい)」と言われてたり、いつも先端を海底に突き刺して、立っているように見えることから「タチガイ」とも言われます。6~7年という長い年月をかけて約30cmほどに育ち、貝柱が大ぶりで上質なことから、ホタテガイよりも上物として扱われています。貝柱が大きくなる冬から春先にかけてが旬で、漁師が海底に潜り一つずつ手で採取しています。

主要産地：坂出市、丸亀市

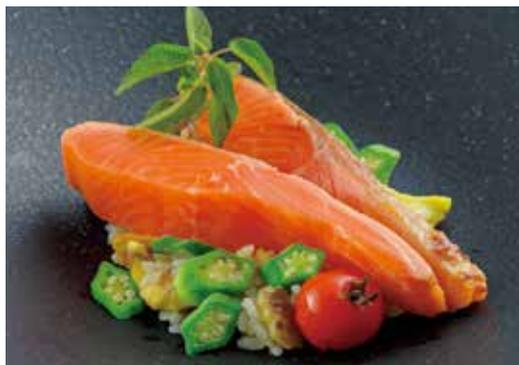
漁獲実績(R2年)

漁獲量：8t ※備讃瀬戸漁獲量(水産課調べ)



ハーブ配合の飼料で育てられた、期間限定の逸品

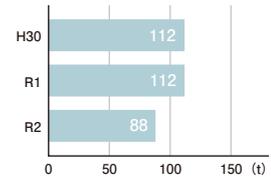
## 讃岐さーもん



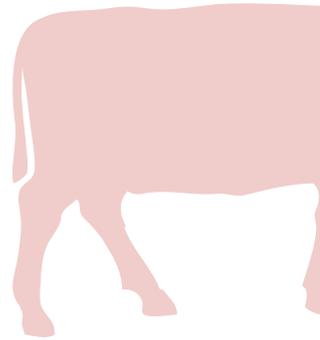
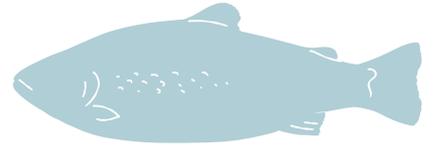
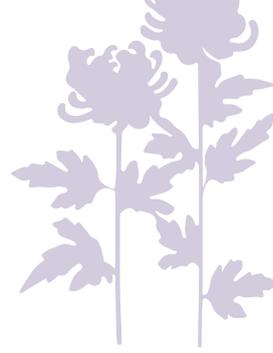
讃岐さーもんは、香川県の海で養殖されたトラウトサーモンで、シナモンやジンジャーなど4種類のハーブを配合した専用飼料で飼育され、鮮やかなオレンジ色の身と魚臭さが少ない、さっぱりとした味わいが特長です。東日本大震災で東北沿岸部のサーモン養殖漁場が大打撃を受け、内陸部の稚魚生産業者が出荷できず困っていることを耳にした香川県の漁業関係者が稚魚を購入したことがきっかけで養殖が始まりました。

主要産地：東かがわ市、さぬき市、坂出市、直島町

過去3年の養殖生産実績



※県内養殖生産量(水産課調べ)



かがやくけん、かがわけん。

# 香川県

発行 香川県農政水産部

〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号

農政課 TEL:087-832-3392

農業生産流通課 TEL:087-832-3417

畜産課 TEL:087-832-3426

水産課 TEL:087-832-3474



香川県産農畜水産物応援  
ポータルサイト 讃岐の食  
<https://sanukinoshoku.jp/>



このパンフレットは環境にやさしい「FSC®認証材および管理原材料」と、有害な物質がほとんど出ない「植物油インキ」を使用しています。また廃液の出ない「水なし印刷」で印刷しています。